

【岡山県】

- 団体名：北房ホテル保存会 ～岡山県真庭市～
- テーマ： 農業と乱獲による激減から、ゲンジホテルを守る天然記念物指定に应运てホテルの保護を、地域住民と児童が共に取り組む環境保護活動。
- 内容： 真庭市を流れる備中川に生息するゲンジホテルの激減に歯止めをかけるため住民が1970年に保存会を結成し、地元小学生がホテル保存の意義を学んで活動に参加。住民と共に南北3kmにわたる河川の環境保全とホテルの生育・保護活動を約50年間続け、これまで「ふるさと生きものの里100選」（環境省）、岡山県「ふるさと文化賞」を受賞。今年6月、地元北房町で開催された全国6市町による「2018全国ホテル・サミット in 真庭」で地元小学生と同保存会が活動発表を行い、その活動と成果が評価され、その発表の趣旨「自然を重んじる生活文化の継承」がサミットの共同宣言に盛り込まれるところとなった。

【鳥取県】

- 団体名：吉田茅穂子 ～鳥取市～
- テーマ： 2010年、ユネスコ世界ジオパークに認定された山陰ジオパークの自然と生きもの、人の暮らしと文化を絵画に描き、伝え、広め、遺す。
- 内容： 「美しい奇岩と海のジオパークを多くの人に知らせたい」「海辺の生きものや人々の暮らし、文化、歴史を伝えたい」－2008年から吉田さんが始めた山陰ジオパークへの“挑戦”が10年を超えた。
 砂丘、浦富・白兔海岸、扇ノ山の鳥取から兵庫、京都にも足を運んで、スケッチをして日本画の作品に仕上げ、山陰行脚の間を縫って鳥取、米子、兵庫で新作発表の「ジオパーク展」をこれまで7度開催し、画の集大成「山陰海岸ジオパーク日本画集」の出版は2度に及んだ。
 この一連の活動、山陰海岸ジオパークを絵画として造形し、展示し、出版し、記録して将来へ遺すという多角的な活動を、しかも独力で。文化・自然遺産継承で示唆に 富む、それ自体が優れた文化活動である。

【島根県】

- 団体名：大田市立長久小学校（校長 石橋義正）
- テーマ： 総合学習の一環としてのユネスコ活動の実践
- 内容： 教科外特別学習でく石見銀山、自然、環境、歴史、街、医療、農業体験、世界の子ども、平和＞などから各学年1～3テーマを選び、地元NGO団体から講師を招いて学習体験を実施している。
 5年生は「世界の子どもたち」の学習でユネスコが進めている「書き損じハガキ収集」に取り組んできた。
 また、「自分たちに出来ること」の学習目標の実践活動では、クラスの話し合いの後、ポスターやチラシを自分たちで作成し、校内の各教室や地域の自治会館、ショッピングモールなどに出かけて掲出してもらい、また、町内を訪問して各家庭にチラシを渡し呼び掛けるなど、全員協力で国際貢献につながる活動を体験している。

【山口県】

■団体名：周南市立和田中学校（校長 中村 浩）

■テーマ：「身近なところから取り組もう」

■内 容： 地域の伝統芸能「三作神楽」の継承に係わる活動、ESD パスポートを活用した地域内外でのボランティア活動、毎年実施される全国ユネスコ「平和の鐘を鳴らそうキャンペーン」参加、また、世界寺子屋運動「書き損じハガキ回収」協力、これらの活動を全校生徒 20 名の参加で積極的に取り組んでいる。

これらの活動を通じて、生徒が地域の人々や地域の良さを知る一方、地域から中学生が必要とされていることが判り、自己肯定感の認識を深めつつ地域愛を醸成し、豊かな心、平和を愛する心の成長を遂げてきた。

これは 2015 年度にユネスコスクール認定校となって ESD 活動の積極的な実践を通して得られた成果と言えよう。

【広島県】

■団体名：廿日市市立宮島小・中学校（校長 石角 剛） ～廿日市市宮島町～

■テーマ：身近な地域を学ぶことから自らの生き方を考える。

■内 容： 学校は世界遺産、日本三景の地にあり、地域の財産に学とともに学習成果を発信していく使命がある。また、本年度から一体型の小中一貫教育校として小学校と中学校が同じ空間で学ぶことの効果を活かす教育を進めてきている。世界遺産・地域遺産教育、環境教育、国際理解教育、キャリア教育を柱とした9年間のカリキュラムは下記のとおり。

①世界遺産・地域遺産教育として宮島の歴史・文化を学び、伝統文化を継承する。（京都大原学院＝大原小・中学校との交流） ②環境教育として宮島特有の自然に学び、環境保護、希少生物保護の活動を行う。 ③国際理解教育として宮島を訪れる外国人へボランティア・ガイドを行う。 ④、①～③の学習内容や学ぶ際の人との関わりを通して自己の将来を切り拓く力をつける。

<成果> ▽宮島を誇りに思う児童生徒が育っている。 ▽京都大原学院との交流を通して他地域の世界遺産や人に触れて視野を広げている。 ▽外国人観光客との接触体験を通じ英語学習と対人接触意欲の高揚。

【広島県】

■団体名：宮島弥山を守る会 ～廿日市市宮島町～

■テーマ： 宮島の最高峰・弥山は、世界遺産厳島神社の重要構成要素であり、その保存・保全を図り、価値の理解を広めることを会の目標としている。

■内 容： 山嶽信仰の霊峰、修験場の弥山は、神の島“宮島信仰”の拠りどころで、瀬戸内海国立公園内にあって荒廃著しい自然保護の発信役も担う。

自然界と精神世界が共存・融合するこの地の特性に魅かれ、地元住民、廿日市と広島市の市民、宗教者、自然愛好家が集う守る会は、毎月 21 日を「弥山を守る日」として毎回 20～30 人が清掃登山に参集する。

環境修復とともに土石流から地元を守る自然の森を復活する活動を目指す。2011 年 4 月の会発足から本年 9 月で 84 回目を迎えた。

▽勉強会「自然・文化・歴史・生活」年 3 回開講～外部講師迎えて

▽弥山登山同行～ベトナム協会・広島電鉄主催行事

▽本年 4 月より植樹・植林用苗づくり開始～広島大学大学院監修